

STI Horizon 2022 冬号発行に当たって

STI Horizon 2022 冬号をお届けします。科学技術やイノベーションには、多くのステイクホルダーが関与しており、包摂性 (Inclusiveness) や持続可能性 (Sustainability) の視点もますます重要になっています。

本号では、特別インタビューとして、富士通株式会社 執行役員 EVP CSO であり総合科学技術・イノベーション会議議員の梶原 ゆみ子氏に、「イノベーションを駆動するダイバーシティ & インクルージョン」についてのお話を伺いました。また、「ナイスステップな研究者」のインタビューとして、名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 准教授 野田口 理孝氏及び東京大学大学院 工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 特任講師 作道 直幸氏にお話を伺いました。

社会や科学技術の新たな「兆し」を報告する「ほらいずん」では、前在インド日本国大使館一等書記官 栗原 潔氏より「躍進するインドの科学技術と日印協力の進展」、横尾 淑子及び浦島 邦子より「タイ及び中国上海市におけるフォーサイト活動」、黒木 優太郎及び横尾 淑子より「未来科学技術の 20 年後評価」、岡村及び林より「セミナーシリーズ『AI とデータで変わる科学と社会』理化学研究所 高橋 恒一氏講演録」を報告いたします。

NISTEP の研究成果等を紹介するレポートとして、細坪 護孝、加納 圭及び須藤 憲司より「科学技術に関する国民意識調査」、永田 晃也より「イノベーションの収益性は低下したのか」について報告いたします。

本誌 STI Horizon の各記事が読者の皆様にお役に立てれば幸いです。また、お近くの方々や、SNS 等 Web メディアへの御紹介もよろしく願いいたします。

STI Horizon 誌編集長 赤池 伸一
(科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)